

会議録

会議の名称	第2回 枚方市事務事業総点検評価員会議
開催日時	平成25年8月5日（月） 18時30分から19時08分まで
開催場所	枚方市役所 特別会議室
出席者	正木啓子評価員、三木潤一評価員、和田聡子評価員
欠席者	-
案件名	(1) 一次評価の結果及び重点棚卸事業の決定について (2) 二次点検・評価の実施について (3) その他
提出された資料などの名称	資料① 一次評価結果集計表（検討資料） 資料② 重点棚卸事業選定シート 資料③ 平成25年度重点棚卸事業一覧（平成24年度選定分） 資料④ 事業概要説明シート 資料⑤ 今後のスケジュール（案）
決定事項	・平成25年度において点検・評価を行う重点棚卸事業について決定 ・二次点検・評価の実施について確認
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録などの公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	なし
所管部署 事務局：	行政改革部行政改革課

審 議 内 容

開 会

座 長：それでは、定刻となりましたので、ただ今より、平成 25 年度第 2 回枚方市事務事業総点検評価員会議を開催いたします。

まず初めに、事務局から配付資料等について、確認をお願いします。

事務局：それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。

資料は、本日の案件等を記した次第と、**資料①**一次評価結果集計表（検討資料）、**資料②**重点棚卸事業選定シート、**資料③**平成 25 年度重点棚卸事業一覧（平成 24 年度選定分）、**資料④**事業概要説明シート、**資料⑤**今後のスケジュール（案）、それからファイルにとじております事務事業実績測定調書及びチェックリストとなっております。過不足等は、ございませんでしょうか。

事務局からは、以上でございます。

座 長：ありがとうございます。事務事業総点検では、昨年度において、平成 23 年度で実績のあったすべての事務事業を対象に一次評価を行いました。今年度は、平成 24 年度からの新規事業のみを対象として、まず、枚方市において一次点検を実施しまして、その後、私ども評価員において、その点検結果をもとに一次評価を行ってきたところです。

案件（1）一次評価の結果及び重点棚卸事業の決定について

座 長：それでは、次第の案件（1）一次評価の結果及び重点棚卸事業の決定についてといたしまして、一次評価の結果をもとに、二次点検・評価の対象となる重点棚卸事業を選定する作業から行っていきたいと思います。

事務局から、資料の説明をお願いします。

事務局：それでは、お手元の**資料①**一次評価結果集計表（検討資料）をごらんください。

こちらの資料は、各評価員の皆様に評価していただいた途中結果を集計した資料となっております。資料の見方といたしましては、表の左から、「部名称」、次に、「平成 25 年度 一次点検・評価対象事業数」、そして、「重点棚卸事業としてチェックした事業数」といたしまして、評価員の皆様が、重点棚卸事業とすべきとチェックをされた事業数を各部ごとに表示しております。

行政改革部を例にしますと、3 名の評価員全員が重点棚卸事業としてチェックされた事業が 0 件、2 名の方がチェックされた事業が 1 件、1 名の方がチェックされた事業が 1 件といった形で記載しております。また、参考といたしまして、右端に、昨年度に選定いただいた全重点棚卸事業数と、そのうち今年度の重点棚卸事業となっている事業の各部ごとの事業数を記載しております。

次に、資料②重点棚卸事業選定シートをごらんください。

こちらの資料は、今回評価いただいた全ての事務事業名称を、各部ごとに整理した資料となっております。重点棚卸事業欄は空白としておりますので、このあと、重点棚卸事業を選定していただく際に、ご活用いただきたいと考えております。なお、補足説明となりますが、今年度の一次点検・評価の対象となります新規事業につきましては、前回の評価員会議において、「もう少し整理を行う必要があるのでは」とのご意見をいただいたところです。この間、評価員の皆様ともご相談させていただきながら、附属機関の整理を行ったことにより新規設定となった事業のうち、昨年度において実質的な点検・評価を終えている審議会関係の事務や、新規事業として単位設定したものの平成24年度に実績のなかった事業などを対象外とするなどの整理を行い、その結果として、本日の資料に記載のとおり、53事業を平成25年度一次点検・評価対象事業としていることを申し添えます。

説明は、以上となります。

座長：今、ご説明いただきましたが、新規事業としては、前回は75事業ございまして、事務局で整理をしていただいた結果として、53事業となったということで、作業する方としてはちょっと楽で済むということですが、相変わらず時間が押し迫った中での作業を先生方にさせていただきましたので、選定作業に入る前に、資料のチェックをしているときの考え方とか、感想、ご意見を、どういう形でも結構ですので、どういうお気持ちでされたか、あるいはこういう評価をしたときに、こういった感想を持ったかなど、ご意見いただきたいと思います。

評価員：今回、権限委任については外しました。それと、今回、かなり終期設定されている事業が多かったので、それらは休・廃止という事業ということになりますけれども、私自身のスタンスでは、振り返りとして本当にそれでいいのかなという意味で、あえて丸をつけました。それゆえたぶん他の先生方に比べて丸の数が多いと思います。
この間の会議から、事務事業の数をかなり絞っていただいたので、こちらもかなりしつかりと見させていただけたかなと思います。

評価員：去年の作業量に比べれば少なく、圧倒されることはないんですけども、どの事業に重点棚卸として丸をするのか。例えば、条例を作るということであれば、作ったらそれで終わりなんでしょうけれども、それ自体どうかということに関して、その事業自体では丸はつけられないのかなと。内容としてというところではチェックしたものの、棚卸として丸はしていないとか、そういう自分なりの線引きで、気になるところはチェックはしておいたんですけども、その中で、次に送るものというところで悩んだというか。あと、終わっているもの自体の判断ということではないと思ったので、そこを外したと

いうところでしょうか。

座長：私も同じような感じで、完了の入っているものって、チェックを入れてもしょうがないのかなと思って。確かに、休・廃止していいかどうかというところが、ちょっと、そういう意味では見方が甘かったのかなと、今ここで反省はしてるんですけども。廃止が決まっているものを意味があるのかなと、若干疑問を感じながらチェックを入れたというのが、今回の作業の感想ですね。

評価員：この会議で休・廃止を決めるものではないので、ここで事業の休・廃止がひっくり返るといふようなこともできないのですが、ここで上がってきているということは対象事業ということで、何か申し送り事項にできるのであればという点で、ちょっとチェックが必要という意味で入れてます。

座長：個別の分でいきますと、基本的には休・廃止が決まっているものにはチェックしてないんですが、とは言いながら実は一つだけというのがあって、平成25年度で終わりなんだけれども、半年あるからまだなんとかなるかなと思って入れたものが一つだけあるんです。

評価員：どれでしょうか。

座長：津田駅前東公園整備事業ですが、平成25年度で終わりってなっていたんですけども、公園整備の中でも、「やってるから」というスケジュール感しか持ってなかったんで、やっぱり今後の維持管理費を踏まえて、これだけ事務事業の総点検をやっている中で、事業費が安上がりになるとか、あるいは維持管理費の安上がりの場所がどこだとか、そういうことが全く読めなくて、何か、ここまで来たからやるんですという感じでしか。まだ半年あったら、後戻りがきくかなと思って。ただ、現場の方がよく分からないので、もう後戻りがきかないところまできているのかもわかりませんが。構造物を作る事業っていうのは途中で戻すほうがお金がかかるんですけども、公園は平面整備が多いので、結構上のところで安上がりできる方法があるはずなので、他の事業とは少し違うかなと思って、これだけ丸をつけました。

評価員：私も一緒に丸をしているんですけども、方向性は、この予定通りのようにこんなに軽くいいのかということで書いたのですが。

座長：鉄道とか道路とかは、それぞれの構造令とか、いろんなことでがんじがらめですけども、公園の中って割と自由度が高いので、例えば照明のやり方とか、植栽でも木の種類を安いものにするとか、いろんなことでできるんですよ。やっているのかわからないけれ

ど、それが書かれていないのがね。かなりあっさり書かれているので、いただいた資料では読み切れない点もあります。

評価員： こういう整備事業とあって、他にもありましたけども、進んではいるんですが、あまりにもシートがあっさり書かれすぎていて、一事が万事でないんですけれども、こういう風にこうすんなり行っていいものなのかどうかっていう意味で。必要性という意味では、この事業の公園整備の詳細な必要部分、それと簡素にできる部分、そういういろんな部分で、少し内容としてお聞きしてもいいのかなというので、丸をしました。

座 長： 事務事業総点検運営事務が、今やっている分なんですけれども、今年の再重点棚卸事業の対応結果がいかにもあっさりしてて、一生懸命やったんだけになってというのがちょっとありましてね。それで、実はチェックを入れてしまったんですけれども。それで、もうひとつ、せっかく先生方からいろんな建設的な意見をうかがっていて、最初のうちは少し、会議そのものを勘違いされていることもあって、ちょっとそういうご説明を受けたときもあるんですが、そうではなくって、事業を消すだけではなくって、建設的な、合理的な意見もいただいているので、それが内部の事務手続きだけで進むだけでなく、何とかこちらで発言したことが、そのまま伝わるような機会があってもいいのかなというのが少しありまして、せっかくダンボール何箱かの資料を見ていろんなご意見をいただいているわけなので、提案的な発言っていうのを担当課につなぐシステムがあればなということで、今後に向けてになるかもわからないですが、丸を入れました。

座 長： 丸をしていないところのご意見もあると思うんですけども。書いてある意見は、意見のとおりなんですけども、いただいた資料で、米印を付けたのが3ページのところの意見欄に入れているんですけれども、ここが、広報のところでも全く同じ、要は、大阪府がやったから、もうやっていますという書き方をしているので、それはいいのかと。ただ、事業としては、権限移譲で来ているので消すわけにはいかないんだけど、何かちょっと、これはいかんだろって感じたところを米印にさせていただいております。

評価員： これ、謎だったのが、何で目標と実績が一致しているんですか。申請件数とか、あらかじめわかっているのかなと。これはあり得ないだろうとあっていうのもありますけど。まったくよくわからない。

座 長： 私もちっと似たようなところで、広報については全部、権限移譲の手続きのときに大阪府がやったからもういいねんという、そんな書き方だったと思うのですが、これは違うなど。

これはどっちにしても消せない事業ではありますけれども、もうちょっときちっと書いてほしいなっていう気がしましたね。

権限移譲でも、事務手続きのやり方の合理化とか、効率性とか、そういうことはまだあると思いますので、必ずしも、権限移譲で来たから、もうそれで何も考えなくていいんだということではないと思うんですが、これ、来たからしゃあなしにやって、府から言われたらそのままやったらよろしいねんっていう感じでしか読めなかったんで。

評価員：おっしゃるとおりで、もう意見も言えない事業なのかなって、あえて書かなかったんですけども、本当に、目標値と実績値が同じって、ほんとおかしくて。

座長：作業をやっている中で、いろんなことが出てきたと思います。たぶん、まだ、こういう席を離れたらもっといろんな意見があるとは思いますが、とりあえず公式的な意見としてここまでということ。特段、他にございますでしょうか。

(意見等なし)

座長：そうしましたら、すでに各評価員から事務局のほうに送っていると思うんですけども、評価結果をもとに、重点棚卸事業の選定を行なっていきたいと思います。

昨年度は、評価員全員がチェックを付けた事業と、3人のうち2人がチェックを付けた事業とを二次点検・評価の対象となる重点棚卸事業として選定しております。やり方としては、それを踏襲するのかなというふうには思いますけども、そうすると、[資料1](#)にあります評価員3人の6事業、評価員2人の5事業、それを合計しました11事業を重点棚卸事業にという形になりますが、いかがでしょうか。一応これで去年と全く同じやり方だということ。

評価員：素朴な質問なんですけれども、53の中の11ということじゃないですか。それぐらいの数で大体いいのかという。私も今回、全くわからないんですが。

座長：新規事業なんでね。去年のでいったら963分の192だから、大体2割ぐらいで。今回は、53のうちの11でやっぱり2割ぐらいなんです。率としてはいいんですけども、新規事業というところが、もうひとつよくわからなくて。いずれにせよ、同じやり方でしたら、たまたま同じぐらいの割合になったと。

評価員：これ、不思議ですよ。

座長：そうしましたら、今の11事業ということでもよろしいですかね。この11事業と、去年からの繰り越しというのか、選んだものの93事業を足しまして、重点棚卸事業として104

事業ということで、ここで決めたいと思います。決まった事業について、事業名をとりあえず 11 事業だけ読んでいただいてもいいですかね。

事務局：それでは資料②をごらんください。

11 事業ですが、行政改革部 行政改革課の「事務事業総点検運営事務」、市民安全部 危機管理室の「被災者支援システム運用事業」、市民課の「旅券発給事務に係る窓口対応業務」、地域振興部 産業振興課の「枚方宿地区出店促進事業(補)」、「産業振興キャラクター活用事業」、「産業振興コーディネート事業」、農政課の「新規就農研修事業」、福祉部 高齢社会室の「天川村・枚方市交流グラウンドゴルフ大会開催事業」、子ども青少年部 子育て支援室の「多胎児家庭育児支援事業(補)」、土木部 公園みどり課の「津田駅前東公園整備事業」、学校教育部 教育指導課の「“音楽にあふれた学校づくり”充実事業(こども夢基金事業)」、以上でございます。

座 長：では、ただいま読み上げていただきました 11 事業で、重点棚卸事業に決定いたします。

案件 (2) 二次点検評価の実施について

座 長：それでは、これと昨年度からの 93 事業を合わせまして 104 事業につきまして、案件(2)にございます二次点検・評価の実施についてに移りたいと思います。

事務局より、説明をお願いいたします。

事務局：それでは、二次点検・評価の実施について、ご説明いたします。

まず、今年度の二次点検・評価の対象となる事業ですが、資料③平成 25 年度重点棚卸事業一覧(平成 24 年度選定分)をごらんください。

こちらの資料は、平成 25 年度で二次点検・評価を行う重点棚卸事業として、昨年度において選定された事業の一覧を記載しております。①といたしまして、平成 24 年度において、重点棚卸事業に選定された 192 事業のうち、平成 25 年度で点検・評価するとされた事業 83 事業、次に、②といたしまして、平成 24 年度の重点棚卸事業 109 事業のうち、平成 25 年度において再検討するとされた 10 事業でございます。この①と②を合わせた 93 事業に、本日選定いただきました、11 事業を加えた 104 事業が、平成 25 年度の重点棚卸事業となります。

二次点検・評価につきましては、この重点棚卸事業を、本市において、再度、二次点検として点検を行い、その点検結果をもとに、二次評価として、評価員の皆様に評価を行っていただくこととなります。その際の資料については、前回の評価員会議でもご確認いただきました資料④事業概要説明シートを基本として、その他に各課において追加の資料があれば、添付させていただきたいと考えております。

なお、追加で必要となる資料がありましたら、お問い合わせいただければ、ご用意させ

ていただきますので、事務局までご連絡いただきたいと思います。

次に、今後のスケジュールにつきまして、**資料⑤**今後のスケジュール（案）をごらんください。

重点棚卸事業の点検結果につきましては、8月中旬から、順次、評価員の皆様に事業概要説明シートをお送りさせていただきまして、10月中旬には、第3回評価員会議を開催し、二次評価及び最重点棚卸事業の決定を行っていただくこととしております。また、11月上旬には、第4回評価員会議を開催し、各課との公開によるヒアリングと三次評価を実施していただくこととしております。最後に、11月中旬に、行政改革実施本部会議を開催し、市の対応案の決定及び公表を行いたいと考えております。また、二次評価につきましては、今後、最重点棚卸事業を選定いただく上での事業の疑問点等について、所管課から直接意見を聞いていただく機会を設けることも考えております。その際には、皆様の日程の関係もありますので、全員にお集まりいただくか、それぞれ個別の対応とされるかについても、本日、併せてご議論いただければと考えております。

説明は以上となります。

座 長：ありがとうございました。ただいま、二次点検・評価の実施についてということで説明がありましたが、これも、去年と同じ作業になるんですけども、特段、確認しておきたい事項等がありましたら、ここでご質問いただければと思います。

事業課のほうにご意見を聞くということが、去年もなかなか難しいということがあったんですけども、それでもやっぱり聞かせていただいたのは大変参考になりましたので、事業課のほうで予定がとれるようであれば、またいろいろお聞かせ願えればと思います。ちょっと申し訳ないのが時間外となってしまう可能性があるんですけども、なんとか対応していただければいいのですが。

事務局：3人、ご一緒の方がよろしいでしょうか。

座 長：一緒の方がいいと思います。やむを得ない場合は別として、基本はそれぞれが1点を持っているというやり方をしていますので、同じ場所で3人でというのを原則でしたいと思うのですが、どうしてもその日にご都合が悪くなったというのは、説明なさる方のご予定もあるので、そのまま実施していただければいいと思いますが。

それから、スケジュールの方は、評価員にも余裕があるようにしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

案件 (3) その他

座 長：それでは、次の案件 (3) その他について、事務局から何か連絡事項などはありますか。

事務局：案件ではございませんが、本日は、多くのご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後、事務局で、本日の評価結果やいただいたご意見等を整理したうえで、二次点検の実務的な作業に入ってまいりたいと考えております。

また、次回の会議ですが、**資料④**今後のスケジュール（案）にもございますとおり、庁内における二次点検の結果を評価いただき、その取り扱いをご確認いただくための第3回の会議を、10月中旬に開催させていただきたいと考えております。具体的な日程につきましては、改めてご都合をお伺いしまして、設定してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

座長：それでは、以上をもちまして、第2回評価員会議を終了したいと思います。ありがとうございました。